



松戸

上本郷

松戸新田

みのり台

八柱

常盤平

五香

元山

くぬぎ山

北初富

新鎌ヶ谷

初富

鎌ヶ谷大仏

二和向台

三咲

滝不動

高根公園

高根戸

北習志野

習志野

薬園台

前原

新津田沼

京成津田沼

てました。これが二十世紀梨の原樹でした。最初は「青梨新太白」と名づけられましたが、明治37年(1904年)東大教授池田伴親氏より、「二十世紀の品種になるだろう」との意味で「二十世紀梨」と命名されたといわれています。この原樹は、昭和10年(1935年)に当時の文部省より天然記念物に指定されましたが、第二次世界大戦中に空襲で焼け、昭和22年(1947年)には枯死しましたが、現在では保存処理をした原樹の欠片が松戸市立博物館内で大切に保存されています。



明治21年(1888年)、当時松戸高等小学校の生徒であった松戸覚之助が分家のゴミ捨て場で種子から芽を出している苗を発見、これを育て

二十世紀梨の記念碑

(二十世紀公園)

学と幾多の変貌を遂げてきました。昭和39年千葉大学が千葉市へ移転したのに伴いその跡地の一部分がこの公園になっています。また、公園入口にある煉瓦造りの門は、かつての陸軍工兵学校時代に正門として使われていたものです。



▲陸軍工兵学校記念碑

相模台にあるこの公園は、戦国時代の天文7年(1538年)に北条氏と里見氏が国府台の戦いで合戦した古戦場、松戸競馬場(現在の中山競馬場・陸軍工兵学校・千葉大

松戸中央公園

(相模台)

松戸駅～北国分駅

約5.0km



※道路横断の際には十分お気を付け下さい。

大橋地区の鎮座として知られるこの神社は、松戸市の無形民俗文化財に指定されている三匹獅子舞が、毎年10月28日・29日の二日間にこの境内を会場として勇壮な笛や太鼓の音色に合わせて舞いながら、厄払い・五穀豊穡を願って奉納されています。

胡録神社

